



『挨拶が素直にできる心を育みましょう』

クリスマス祝い会、大崎ホーム訪問、クリスマス礼拝と大きな行事を終え、慌ただしい年末を過ぎ、新しい年を迎えます。

一年というのは本当にあっという間に過ぎてしまいますね。

2014年も一日一日を大切に生きていきたいですね。

子どもが一年間で成長する姿は目を見張るものがあります。小さければ小さい程度吸収力が高いということなのでしょう。保護者の方、そして周りの大人たちの接し方によって子どもは良くも悪くも成長していくのです。それだけ大人は責任を持って接していかなければならないと思います。だからといって教えることもとする気負いは、時として子どもの成長を妨げてしまう可能性もあります。子どもの成長を楽しみながら子育てしていくことが良い方向に育っていくことなのかなと思います。

最近子ども達の話す言葉がとても乱暴になっていることが気になります。『クロスソ』『シネ』『ヒトラヤク』とかゲームやTVの影響もあるのでしょうか遊びの中で安易にそういう言葉を使ってしまう場面を見るとなんだか悲しくなってしまうのは私だけでしょうか。

今、任天堂で携帯ゲームは時間を決めて長い時間してはいけないというCMをするようになりました。

ゲームの弊害がようやく理解されるようになってきたからだろうと思います。

子どものうちからビデオやゲームばかりしていると、人との会話が出来なくなります。こちらから話しかけても、それに応じて話することが難しくなります。基本的な生活習慣もゲームの世界に入ってしまうと出てこれず思うように出来なくなります。子ども達の柔らかい脳にゲームやビデオの刺激的なものを四六時中与えてしまったら、どういふ結果になるのか私たち大人が考えるべきことです。

自分で考えるということが出来ずに成長してしまう恐ろしさ、気持ちのおもむくままに行動してしまう怖さはTVのニュースや新聞の紙面にかかれる殺人などの犯罪に少なからず近付いて行くことではないかと思えてなりません。静かにしているからとゲームやビデオに子守をさせて子どもを中毒にさせていませんか。

新しい年を迎えるあたり、生活を見直し、子どもとの会話を楽しむ生活にしていってほしいと切に望みます。

子どもの将来の事を考えるなら、たくさん関わりをもち楽しく子育てをすることが大切だと思います。

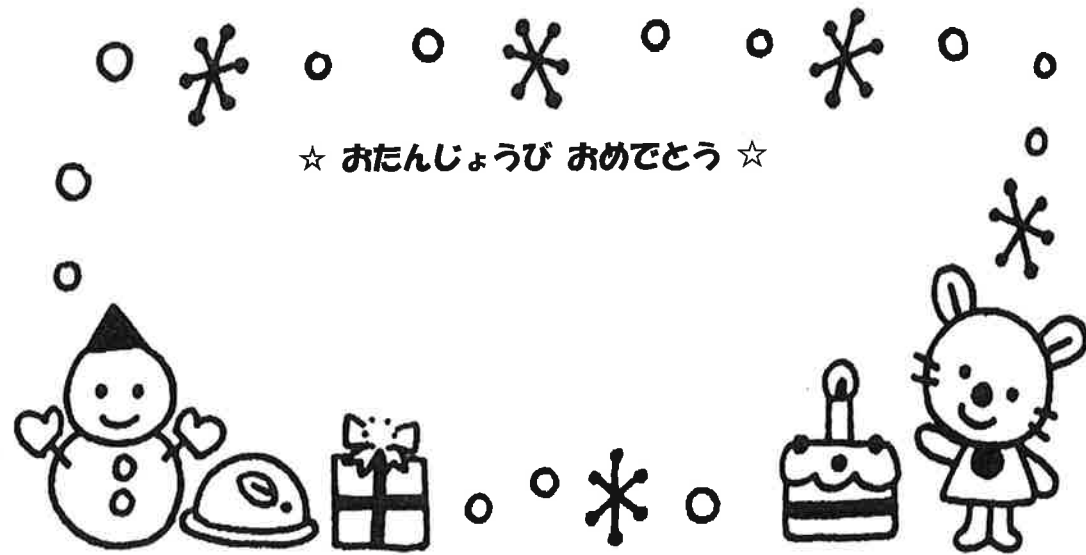
父性や母性は生まれついて持っているものではないそうです。子どもを育てていく事で自分たちも父性、母性を育てていく、共育ちです。

楽しくお正月を過ごし、笑顔で「明けましておめでとうございます！」という声が聞ける事を楽しみにしています。

＜ 園長 平野 義子 記 ＞

行事予定

4日(土) 保育始め(お弁当持参)	24日(金) 誕生会
10日(金) 餅つき大会	28日(火) 縦割り保育
22日(水) 第三小学校見学(5歳児)	?日 避難訓練



☆ おたんじょうび おめでとう ☆

おとうさん・おかあさんから

入園した頃の〇〇は、頻りに高熱にかり 1歳になるまで4回入院。また、アトピー性皮膚炎がなかなか良くならず、健康面で不安を感じておりました。しかし、3歳を過ぎたあたりから、体も丈夫になり、皮膚炎も軽い症状になりました。これも偏に先生方と給食の先生が、食事や生活面できめ細やかに配慮いただいたお陰です。心よりお礼申し上げます。

年中、年長さんになってからは、仲の良いお友達が出来、保育園に行くのが楽しくてしょうがない毎日。遠足などの前日は、かなりのハイテンション。ハイな〇〇を見ていたら、自身も“ワクワク”してきました。(笑)

思い起こせば、平成17年長男の〇〇から約9年間、ほぼ毎日保育園に通い続けました。お陰様で妻共々職場で安心して働くことが出来ました。

子ども達が寂しい思いをすることもなく、手作り感・温かみのある保育園がカトリック保育園のように思います。園長先生はじめ先生方、退職された先生方含めまして、ありがとうございました。

(ひつじ組 〇〇 〇〇くんのおとうさんより)

2歳のころに仙台から引っ越ししてきて、その春からお世話になりました。特にここ1年は出張も多く、一週間以上会えなかったり、約束をしていたのに急な仕事が入り約束を果たせなかったりと、〇〇には本当に淋しい思いばかりさせてしまいました…

それでも〇〇は「お仕事がんばってね！いつもありがとう」といつも言ってくれたりお手紙をくれました。我慢していた部分も本当にいっぱいあったとおもうけど、このように言ってくれるのは、ママに代わって送迎や子守をしてくれた祖父母、兄夫婦、姉、そして保育園の先生やお友達がいてくれたおかげだと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

クリスマス祝い会でも念願のマリア様役をやったり、実家でも保育園でも〇君(従弟)を弟のようにお世話していたりと、ここ1年は本当に成長が見られました。

入園当初は正直先生方のなまりに戸惑いましたが、今はこれが保育園の「色」なんだと思うようになりました(笑) 残り少ない保育園生活を目いっぱい楽しんで買いたいです。本当にありがとうございました。

(ひつじ組 〇〇〇 〇〇〇ちゃんのおかあさんより)



ばんび組 (0歳児)

<ねらい>

- ・ いろいろな挨拶に触れ、動作や言葉で表すことを知る。
- ・ 生活リズムが整い、寒い冬を元気に過ごす。

<家庭連携>

- ・ 大きな声で挨拶をしたり、動作を大きくすることで子ども達が真似をしやすいようにしましょう。
- ・ 正月休めで生活リズムが崩れないように規則正しく過ごしましょう。

ひよこ組 (1歳児)

<ねらい>

- ・ 挨拶を動作や言葉で表そうとする。
- ・ 危険な場所や行動があることを知る

<家庭連携>

- ・ 大人が元気に挨拶することで、進んで挨拶ができるよう知らせて行きましょう。
- ・ 子ども達の遊びを見守りながらも、危険について知らせ、安全に遊べるように環境を整えていきましょう。
- ・ 爪が伸びていると危ないので短く切って下さい。



ことり組 (2歳児)

<ねらい>

- ・ 生活の中で様々な挨拶があること知り、行う。
- ・ 寒さに負けない丈夫な体をつくる。

<家庭連携>

- ・ 家庭でも気持ちの良い挨拶を元気に交わしましょう。
- ・ うがいや手洗いをし、病気の予防に努めましょう。また、丈夫な体をつくるため、厚着にならないようにしましょう。



こねこ組 (3歳児)

<ねらい>

- ・ 親しみをもち、明るく挨拶を交わす。
- ・ 正月遊び、伝承遊びを通して、数や形に興味を持つ。

<家庭連携>

- ・ 日々の挨拶だけでなく正月に交わす挨拶も子どもと一緒にいきましょう。
- ・ 会話の中で数を数える、数字を読む、形を聞くなど、言葉で知らせていきましょう。



うさぎ組 (4歳児)

<ねらい>

- ・ 人との関わりの中で自ら挨拶をする。
- ・ 善い事や悪い事があることに気付き、考えながら行動する。

<家庭連携>

- ・ 挨拶の大切さを伝え、家庭でも挨拶をする習慣をつけましょう。
- ・ 善悪の区別をきちんと知らせ、なぜいけないのか等、その理由も話すようにしましょう。

ひつじ組 (5歳児)

<ねらい>

- ・ 挨拶を交わし合う喜びや心地良さを感じる。
- ・ 長い物語の内容を理解してイメージを豊かにし、感想を伝え合う。

<家庭連携>

- ・ 挨拶をすることで、気持ち良く一日が送れることを知り、自ら行えるよう働きかけていきましょう。
- ・ 絵本の読み聞かせを行い、長い物語に興味を示し、内容を理解できるようにしていきましょう。



〇 給食室から 〇

「いただきます」「ごちそうさま」の意味を考えたことはありますか？

「いただきます」には命をいただく感謝の気持ち。「ごちそうさま」は客を食事でもてなすために走り回って用意したことから駆け走ってくれた人への労いの気持ちがこめられています。

感謝と労いの気持ちをこめて「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をしてみたいかたがでしょうか。





『あいさつ』

この時期になると毎年感じるがあります。

春、保育園初デビューのお父さん、お母さん、お子さん。保育士に「おはよう」と声を掛けられ、ぽか〜んと保育士を見つめていたお子さん。その隣で頭をぺこっと下げ応えてくれた御両親。

夏、ちょっとずつ園生活に慣れてきた頃。「さようなら」「さようなら」と恥ずかしそうに挨拶をしてくれたお父さん。“あっ！お父さんが挨拶してくれた！！”と嬉しさが込み上げてきました。

秋、「おかえりなさい」「ただいま、お世話様でした」と元気な素敵な笑顔で応えてくれたお母さん。ピカピカに輝いてました。

冬になり、「せんせい、おはよう！ママおしごとがんばってー！いってらっしゃーい！！」と子ども達からの元気な挨拶。職場へ向かう御両親、そして保育士にとって子ども達のその声が『元気の源』になっていること間違いなしです。「行ってきま〜す」と答えながら「あら、先生風邪良くなりましたか？」と挨拶と合わせてお声を掛けていただいたお母さん。心の中までもあたたかくなりました。

あの時、保育士を見つめていたお子さん、ぺこっと頭をさげていた御両親。月日が経ち、「おはようございます」「さようなら」と自然に挨拶を交わしている『今』があることに気付かされます。ちょっぴり勇気のいる挨拶ですが、挨拶から始まり気遣いの言葉まで掛けてくれたお母さんを見習って、心のこもった挨拶で新しい年を迎えたいと思います。

< 未滝児主任 山田紅美子 >



1月のうた



『コンコンクシャンのうた』

- ① りずさんが マスクした ちいさい ちいさい ちいさい ちいさい マスクした
コンコンコンクシャン
- ② つるさんが マスクした ほーそい ほーそい ほーそい ほーそい マスクした
コンコンコンクシャン
- ③ ぶうちゃんが マスクした まるい まるい まるい まるい マスクした
コンコンコンクシャン
- ④ かばさんが マスクした おおきい おおきい おおきい おおきい マスクした
コンコンコンクシャン
- ⑤ そうさんが マスクした なかい なかい なかい なかい マスクした
コンコンコンクシャン



『いちわの とりさえ』

- ① いちわのとりさえ かみさまの ゆたかな めぐみに まもられて よろこびうたい まいあそび まいあそび
- ② ひとつのはなさえ かみさまの ゆたかな めぐみの あめうけて いろうつしく さきにおう さきにおう
- ③ おさないわたしも かみさまの ゆたかなめぐみを たたえつつ まことのみちを ひとすじにひとすじに

ありがとうごぜいでした

★ 12月24日(火) ひつじ組の子ども達と古川郵便局に行き、日本ユニセフ協会フィリピン台風災害への募金60,518円を送金いたしました。

★ 保護者の方に手作りのクリスマスリースを作っていただきました。また、園庭のプランターにたくさんのきれいな花を植えていただきました。



お正月がいに

☆ 年始1月4日(土)は『お弁当の日』となります。お忘れのないようお願い致します

☆ 雪遊びが多くなってくるので、手袋、帽子、長靴などの防寒具の準備、着替えを多めをお願いします。



年末年始の休みは十分注意して過ごしましょう！

※緊急時の場合の連絡先

保育園携帯電話 090-2999-9171



あなたの一分間拝借！

2014年1月1日

明けましておめでとうございます！この一年が神のお恵みで満たされますようお祈り申し上げます！

2014年1月の人間性教育目標は、[明るい挨拶の励行に力を尽くしましょう]をテーマにしております。[あいさつ]は、人間が人間らしく生きるために必要な基本的姿勢です。挨拶なしで始まる一日は人間らしさを失った一日となり、自己中心的生活の道を知らず知らずのうちに歩み、明朗性が乏しくなり、自分の居場所が小さくなり、暗い人生を余儀なくされるものです。あいさつの仕方ひとつで人生は変わります。家庭も、職場も、学校も、社会自体が明るくなるものです。それも機器による挨拶ではなく、生（なま）の挨拶こそ血の通った最高の宝であるといっても過言ではないと思います。これはあなた自身の刷新によってのみ実現できる神秘であるだけに、新年にあたりこころを鬼にして精進したいものですね。

また、挨拶を英語で Good-bye と云いますが語源的に God be with ye! が短縮されて出来た言葉で、その意味は「神があなたと共にいますように!」ということとても尊い願いを込めた別れの言葉であることを知り、すごいなあと思います。私たちはそんな意味も考えずに「bye, bye」「バイバイ」といっておりますが・・・。

聖書の民イスラエル民族は、挨拶の言葉を「シャローム！」と行ってたがいに挨拶します。これまた「主の平和がありますように!」という意味の言葉で日々暮らしているのです。イスラエルに旅した時、バスの運転手さんに「シャローム」と挨拶したら「シャローム」と笑顔で応えてくれたことを思い出します。挨拶にも深い意味が秘められていることを大切に、互いに挨拶できる人間に育まれていくように一月の日に精を出すよう努力いたしましょう。因みにイエス様が誕生された時、天使たちが世界中のすべての人々に与えた挨拶は今でもこれから世の終わりに至るまで、人々の心に歌い続けられることでしょう。

「天には、神に栄光、地には神の御心に適う人々に平和あれ!」

保育所の所長研修会での出来事を思い出します。招かれた講師教育長が開口一番大きな声で「皆さんお早うございます」と挨拶されたのですが誰もそれに応えて「お早うございます」と言う人がいませんでした。教育長からお叱りを頂戴したことは当然でした。「あなたがたは子ども達に挨拶を教える立場にある保育所所長が挨拶一つ蔑（ないがし）ろにして、どのようにして子どもたちに挨拶を教えるのですか？ 無い袖は振れぬといいますが・・・どなたか教えてくれませんか？と一本とられたことを心に銘記した次第です。

教育とは教えることだけではなく、学び合うことであることを忘れた所長さん達でした。自重自戒ものでした。或小学校の校長先生は、子ども達に挨拶を励行するために、自ら校門にたつて登校する一人ひとりに「お早うございます」とお辞儀をしながら礼節を教育の基本として毎日行ったということを知り感動したものです。『一日は礼によって始り礼によって終わるものなり』ということなのです。教育者の模範ですね。

[挨拶]の[挨]は[ひらく]とか[互いに近づく]を意味します。[拶]とは[せまる]という意味でまさに心を開いてお互い分かち合う「しるし」なのです。

挨拶の意味の気高さを尊重し、私たち大人が正しい挨拶の模範を示し、そのあらゆる方一つで人間性、人格の品位が問われるものであることに目覚め、2014年の新たな旅立ちに備え、心機一転カトリックならではの保育に力を注ぎたいものですね。

挨拶の4原則

- ① あいさつの「あ」は、あかるく（笑顔でかわす）
- ② あいさつの「い」は、いつでも（出会いのときは）
- ③ あいさつの「さ」は、先に（自分のほうから）
- ④ あいさつの「つ」は、続ける（三日坊主にならないように）

新しい保育園が皆の明るい笑顔で交わす挨拶で生き活きとなりますように！



カトリック古川教会
司祭 川井 啓